

## 心不全の新たな国際定義

Eur J Heart Fail. 2021 Feb 19. doi: 10.1002/ejhf.2115. Online ahead of print.

日本心不全学会 (JHFS)、米国心不全学会 (HFSA)、欧州心臓病学会傘下の心不全学会 (HFA-ESC) の 3 学会が合同で策定。今回公表された国際定義のポイントは以下 3 点。

- 1) 心不全の定義として従来からの症候に加え、利尿ペプチドの上昇と肺・体うっ血の客観的エビデンスを明記
- 2) 心不全のステージ分類 A~D を At-risk for HF (心不全リスク)、Pre-HF (プレ心不全)、HF (心不全)、Advanced HF (進行性心不全) と表現
- 3) LVEF 41~49% を HF with mildly reduced EF と表現。さらに HFimpEF の定義を明確化

\*\*\*\*\*

心不全の国際定義は「器質的および／あるいは機能的な心臓の異常を原因とする症状や徴候を呈し、ナトリウム利尿ペプチド高値および／あるいは肺または全身性のうっ血の客観的エビデンスが認められる臨床症候群」とされた。なお、心不全診断の基準値として B 型ナトリウム利尿ペプチド (BNP) の血中濃度が外来患者で 35pg/mL 以上、入院／非代償性患者で 100pg/mL 以上、N 末端プロ B 型ナトリウム利尿ペプチド (NT-proBNP) が外来患者で 125pg/mL 以上、入院／非代償性患者で 300pg/mL 以上と記載。

**ステージは「心不全リスク」「プレ心不全」「心不全」「進行性心不全」に分類**

心不全のステージ分類は、以下の通りとした。

**ステージ A : At-risk for HF (心不全リスク)**

- ・心不全の症状または徴候はなく、それらの既往もない
- ・心疾患を示す器質的所見あるいはバイオマーカーの異常は認められない
- ・高血圧、動脈硬化性心血管疾患、糖尿病、肥満、心毒性を有する物質への曝露、心筋症の家族歴を有する

**ステージ B : Pre-HF (プレ心不全)**

- ・心不全の症状または徴候はなく、それらの既往もないが、以下の①~③のいずれかを有する患者群

- ①器質的心疾患 (左室肥大、心室の拡大、心室の壁運動異常、心筋組織の異常、心臓弁膜症など)
- ②心機能の異常 (左室または右室の収縮機能低下、充満圧の上昇、拡張機能障害など)
- ③BNP 濃度の上昇または心筋トロポニン値の上昇

**ステージ C : HF (心不全)**

現在、器質的および／あるいは機能的な心臓の異常を原因とする心不全の症状または徴候を有するか、過去にそれらの既往がある

**ステージ D : Advanced HF (進行性心不全)**

- ・安静時に重度の症状や徴候が見られる
- ・ガイドラインに準拠した管理や治療 (GDMT) を行っても再発を繰り返す
- ・GDMT に対して抵抗性または不耐性を示す
- ・移植、循環補助、緩和ケアなど進行例に対する治療を考慮する必要がある

**LVEF による心不全の分類も新たに提唱**

LVEF に応じた心不全の分類も改訂された。提唱された分類法は以下の通り。

- ①LVEF の低下した心不全 (HF with reduced ejection fraction ; HFrEF) : LVEF 40%以下
- ②LVEF が軽度低下した心不全 (HF with mildly reduced ejection fraction ; HFmrEF) : LVEF 41%以上 49%以下
- ③LVEF の保たれた心不全 (HF with preserved ejection fraction ; HFpEF) : LVEF 50%以上
- ④LVEF が改善した心不全 (HF with improved ejection fraction ; HFimpEF) : LVEF がベースライン時の 40%以下から 10%ポイント以上改善し、2 回目の測定時に 40%を上回っていた患者群